

講座

Web 広告

村山 哲治

2024年 Web の 運用は生成 AI で どう変わる

■生成 AI の活用が必須になる理由

2023年を振り返ると、生成 AI のビジネス活用が始まり、特に Web の運用においてマーケティング、コンテンツ制作、データ分析など、それによる効果はネット戦略を根本から変える新しい可能性を感じることができました。そして2024年、Web の運用においてその変化をさらに加速させていくと思われまます。生成 AI は、週単位の速いスピードで進化しており、Web 運用における代表的な五つの課題に対して有効な解決策になっていくでしょう。

1. コンテンツの大量生産と品質維持の課題

現在の SEO 対策やコンテンツマーケティングでは、コンテンツを頻繁に更新したり大量に生成したりすることが重要です。しかし、外注するにしても費用や品質、運用の手間が課題でしたが生成 AI を活用することで、テキストや画像などのコンテンツを迅速かつ大量に生成でき、人的負担を軽減しながら、コンテンツの品質を維持することが可能になります。

2. パーソナライゼーションの要求に対する課題

自分に最適なものや情報への欲求が年々高まっており、ネット戦略で「ワンツーワンマーケティング」は重要なキーワードとなっています。そこに AI の機能や分析スキルが加わることで、ユーザーの行動履歴からより精度の高いパーソナライズされたコンテンツの提供が可能となり、ユーザーの満足度を高めることができます。

3. 煩雑なデータ分析の課題

パーソナライゼーションの取り組みも含め、アクセス分析、SEO 対策の分析、ユーザーの分析とあげればきりがなほどの分析と、その所見からの対応が複雑かつ煩雑化しています。AI は複雑なデータセットを効果的に短時間で分析できるため、マーケティング戦略やコンテンツ最適化が迅速に行えるため適切な意思決定をサポートします。

4. ユーザーエンゲージメント向上の課題

コンテンツマーケティングで難しいのが、いくら大量にコンテンツを作成したとしても必ずしもエンゲージメントにつながらないという問題です。革新的な AI 生成コンテンツは、ユーザーの注意を引き、エンゲージメントを高めることが期待されるため、ユーザーの興味を持続させる新しい展開を見出すことができます。

5. 運用コストと効率性のバランスにおける課題

運用の課題を突き詰めると、業務量の生産性とコストバランスです。AI の活用メリットは労力や手間、コストを削減すると同時に運用効率を向上させることです。これにより、高品質なコンテンツをより効率的に提供することが可能になります。

このように、生成 AI は Web 運用における多様な課題に対して有効な解決策を提供してくれます。つまり企業は Web 戦略を加速させるためには AI の活用が必須となっているのです。

■生成 AI を活用した 効果的なマーケティング戦略

2024年 Web マーケティング戦略は、生成

AIの広がりが大きく変化します。どのような生成AIが企業と顧客とコミュニケーション、製品やサービスの訴求に影響を与えるかその一例を紹介します。

1. カスタマイズされたコンテンツの自動生成
「GPT-4」のようなテキスト生成AIは、ユーザーの興味や過去の行動データを基に、リアルタイムでカスタマイズされたコンテンツを生成します。これにより、企業は顧客一人ひとりに最適化されたコンテンツを提供することができ、パーソナライズされたマーケティングを実現します。
2. クリエイティブな広告キャンペーンの促進
「DALL-E3」「Imagen 2」「Stable Diffusion」はテキストから高品質な画像を生成し、広告クリエイティブの自動化までが行えるようになります。これにより、迅速にタ



DALL-E3による画像生成例

ーゲットユーザーにマッチした広告ビジュアルを作成し、効果的な広告キャンペーンを展開することが可能になります。

3. ユーザー生成コンテンツの分析と活用
自然言語処理AIの「BERT」「RoBERTa」や「GPT-4」は、ユーザー生成コンテンツの分析にパフォーマンスが期待されるものです。これらのAIはSNSの投稿や顧客レビューを深く分析し、市場の需要に合わせた新製品やサービスの開発、広告プランを立案できます。

これらのAIサービスの活用により、2024

年のマーケティング戦略はよりダイナミックでパーソナライズされたものへと進化していきます。企業はこれらの技術を駆使して、顧客により密接にアプローチし、競争市場における優位性を確立することが期待されます。

■生成AI活用の課題と対応策

これから生成AIが重要な役割を果たすようになる一方、導入と運用には次のような課題とリスクがあることを理解しておかなければなりません。

1. データプライバシーとセキュリティの課題
生成AIは用途によっては個人データを使用してコンテンツを生成するため、データプライバシーとセキュリティが重要な懸念事項です。対応策としては、データ保護規制の厳格な遵守、透明なデータ収集と使用ポリシーの実施、およびセキュリティ対策が必要です。
2. AIの決定プロセスの透明性
AIがどのようにコンテンツを生成し、どのような基準でユーザーに表示するかの透明性は、ユーザーの信頼構築に不可欠です。AIの意思決定プロセスをユーザーに説明したり、AIの関与がどの程度なのかを示すなどの対応が求められます。
3. コンテンツの品質と倫理的問題
AIが生成するコンテンツの品質管理と倫理的問題は、特に注意を払うべき点です。AIはたびたび誤った情報や不適切なコンテンツを生成するため、厳格な監視と品質チェック、倫理的なガイドラインの整備が必要です。
4. 持続可能なAIの運用
生成AIの運用には、技術の進歩にあわせてAIツールを定期的に更新し、新しいデータやトレンドに対応できるようにする必要があります。また、AIの活用に関する社内の教育と全社員がAIの理解と可能性を最大限に活用できるようにすることも重要です。

2024年はAIの導入とあわせ、こうしたこれらの課題への適切な対応も講じることで、より競争力のあるWebマーケティングの展開が可能になるのではないのでしょうか。

(東京ドアーズ/人間力教育センター 代表)